

倉塚(水戸牧)連覇 競泳男子200バタ

全国高校総体

市のひろしんビッグウェーブで行われ、男子200バタフライの倉塚遼(水戸牧3年)が1分56秒57で2連覇を果たした。

全国高校総体の競泳男子200バタフライで、水戸牧の倉塚遼(広島市のひろしんビッグウェーブ)が1分56秒57で2連覇を果たした。

倉塚は予選を1分57秒85で首位通過した。決勝では150秒まで高校記録に迫るハイペースで泳ぎ、一度も先頭を譲らなかった。優勝を決めた「自分のレースができた。本当にうれしい」と喜び、19日の100バタフライに向けても「良いタイムで優勝できるように頑張りたい」と抱負を語った。

(福本透也)

※茨城新聞社の許可を得て掲載しております
※記事の転載・配布はご遠慮ください

倉塚(水戸牧)王者の風格

競泳男子200バタ 自己新で圧勝

「競泳男子200バタフライ決勝」1分56秒57で2連覇を果たした水戸牧の倉塚遼(広島市のひろしんビッグウェーブ)

圧巻の2連覇だ。競泳男子200バタフライの倉塚遼(水戸牧3年)が自己新の1分56秒57で優勝を飾った。「最後のインターハイだったのだからうれしい。ほかの大会とは違う」と笑顔を見せた。

合宿や日々の練習で高強度のメニューを積み重ね、「メダルが昨年よりも強くなった」と成長を実感。連覇の重圧も意に介さず、掲げた「1分56秒台での連覇」「泳ぐ前から出す自信はあった」と言い切る姿は王者の風格を漂わせた。

スタートから勢いよく飛び込み、全身を大きくしなせ

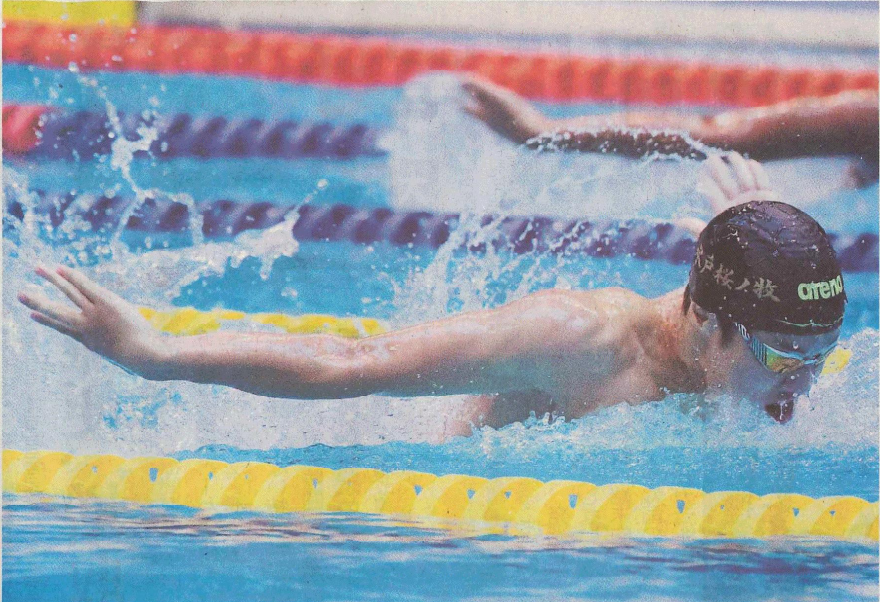
ドルフィンキックと力強いストロークがみごと。「前半がすごく楽に入れた」と振り返ったように、最初の50バタを決勝進出者で唯一の25秒台で折り返し、100バタまで高校記録を上回るペースで独泳。惜しくも記録更新は逃したが、レース後「まさか途中で高校新ペースだとは思ってなかった」と興奮気味に語った。

幼少期から水泳を始めた倉塚はバタフライの魅力を「見た目がカッコイイ」と破顔する。小学生から専門にして泳ぎ続け、昨年この種目で県勢初の優勝。高校最後の大舞台でも水面を切り裂く迫力の泳ぎを披露し、2008年に降出たいなかった2連覇を成し遂げた。

100バタも控える覇者は「混戦だが自分ができることをやって優勝したい」とうさぎを見据えた。1分57秒58を記録した。

双葉台中出身。

(福本透也)



競泳男子200バタフライ決勝後、タイムを見つめる水戸牧の倉塚遼(広島市のひろしんビッグウェーブ)

倉塚(水桜ノ牧) 準V

競泳
男子100バタ
泳



悔しさも成長実感

2冠を狙った男子100バタフライの倉塚遼(水戸桜ノ牧3年)は53秒22で2位だった。「スタートで遅れてしまい、それが悔しい」と話した

〈競泳男子100バタフライ決勝〉53秒22で準優勝した水戸桜ノ牧の倉塚遼＝広島県ひろしんビッグウェーブ

競泳男子100バタフライで準優勝した水戸桜ノ牧の倉塚遼＝広島県ひろしんビッグウェーブ



予選を1位で通過し、第4レーンで決勝に臨んだ。前日の200バタフライ同様、スタートから先頭に立ちたかったが「少し(動きが)硬かった気がする」と振り返ったように、力みが裏目に出てしまい2位で折り返した。後半も健闘したが、52秒台の1位に及ばなかった。

準優勝し「1位にはなれなかったが、昨年は決勝すら残れなかった」と(福本透也)

ものの、昨年立てなかった決勝の舞台で力泳し、表情はさすが良かった。予選を1位で通過し、第4レーンで決勝に臨んだ。前日の200バタフライ同様、スタートから先頭に立ちたかったが「少し(動きが)硬かった気がする」と振り返ったように、力みが裏目に出てしまい2位で折り返した。後半も健闘したが、52秒台の1位に及ばなかった。

成長を実感する。前回のインターハイが倉塚の競技人生を一変させた。200バタフライの実績が認められ、日本代表候補合宿も経験。「いい刺激をもらえ、多くの経験を積んでこまで来た」とつな

※茨城新聞社の許可を得て掲載しております
※記事の転載・配布はご遠慮ください